

ご挨拶

この度、2021年11月6日（土）～7日（日）の両日、長崎市において第20回日本先進糖尿病治療研究会・第18回1型糖尿病研究会の合同研究会を開催させていただくことになりました。この2つの研究会は分野が密接に関連しており、参加者の多くが共通しているため、2018年から合同開催となっています。本来2020年11月に久留米市で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症のため時期を1年遅らせ、会場を長崎市に変更し、Webとのハイブリッド形式とすることで開催が実現しました。現地におきましては十分な感染対策を講じる予定です。このような状況にもかかわらず演題をご応募いただいた多くの皆様に深く感謝申し上げます。

本合同研究会のテーマはインスリン発見100年にちなみ、“インスリン100年、つなげよう未来へ！”といたしました。インスリンに限らず、近年の糖尿病治療薬の進歩と、インスリンポンプや持続血糖測定器などテクノロジーの発展には目覚ましいものがあります。本研究会では、YIA、講演、シンポジウム、パネルディスカッション、セミナーなどを企画し、2年分の進展を盛り込んだプログラムを準備したつもりです。また、患者さんやご家族の方向けの市民公開講座もWeb開催いたします。多くの方々にご参加いただき、先進的治療の知識とスキルを習得する情報交換の場となれば誠に幸いに存じます。何卒よろしくご厚意申し上げますとともに、皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

第20回日本先進糖尿病治療研究会

当番世話人 中山 ひとみ

(久留米大学医学部内科学講座内分泌代謝内科部門／筑後市立病院内分泌・代謝内科)

第18回1型糖尿病研究会と第20回日本先進糖尿病治療研究会が合同開催となり3回日の研究会を開催させていただくことになりました。新型コロナ感染拡大にともない、1年延期させていただきようやく開催にこぎつけましたが、その間、多くの方に多大な協力を賜りましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。

本研究会は、数ある糖尿病関連の医学集会の中でも、高い専門性と先進的なテーマを中心に、侃々諤々自由な議論を通して深く交流できる、他には例のない大変貴重な場であると考えています。ややオタクとも思えるこのコア領域に、ますます若い仲間が増えることを願い、今年も若手研究奨励賞（YIA）の応募を行ったところ予想を超える多くの申請をいただき、熱い議論が期待されます。また、Immunology of Diabetes Society PresidentのAnette-G. Ziegler教授の特別講演、1型糖尿病の患者であり医師であるDT1Dの先生方の糖尿病診療の超実践法を学ぶパネルディスカッション、インスリンポンプやCGMなどの最新情報、わかりやすい解説講演など、中山ひとみ先生とともにインスリン100年の記念すべき年にふさわしいさまざまな企画を準備して参りました。参加いただいた皆さまに十分満足いただける研究会になると確信しております。

会場の出島メッセ長崎は、つるの港長崎港や長崎駅に隣接し、本年11月1日に開場されるできたてほやほやの新しいMICE会場です。感染対策も十分に施しております。ご来場が可能な皆様におかれましては、是非とも会場に足をお運びいただき、また来場困難な方はWEBを通して、多くの活発な議論と、ご支援をお願い申し上げます。

どうぞ最後までご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

第18回1型糖尿病研究会

会長 阿比留 教生

(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻内分泌・代謝内科学分野)